

2017（平成 29）年度

日本英文学会九州支部 第 2 回編集委員会議事録

日 時：2017（平成 29）年 10 月 21 日（土） 午前 10 時 00 分～10 時 36 分

場 所：長崎大学環境科学部 1 階大会議室

議事：

1. 『九州英文学研究』第 33 号（支部統合号 Vol. IX）の刊行について
2017 年 1 月 20 日刊行。英文学 5 編、米文学 3 編の計 8 編の投稿中、英文学 1 編、米文学 1 編、計 2 編を掲載。そのうち英文学の 1 編が奨励賞。懇憑論文の投稿はなかった。
2. 『九州英文学研究』第 34 号（支部統合号 Vol. X）について
一般投稿 11 編(英文学 4 編、米文学 7 編)、懇憑論文 3 編（英文学 2 編、英語学 1 編）で、総計 14 編の投稿があった。審査の結果、英文学 2 編（共に懇憑論文）、米文学 2 編を採用とし、英語学 1 編（懇憑論文）、米文学 1 編に対して再審査とした。再審査の結果、英語学の 1 編を採用。その結果、英文学 2 編、米文学 2 編、英語学 1 編の 5 編の掲載となった。
3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
九州支部学会賞の基準に沿って審議した結果、今回は「優秀論文賞」「奨励賞」ともに該当者なしとなった。
4. 委員の交代（退任）について
英語学分野の登田龍彦委員より、本務校でのご退職に伴い、委員を本年度で退任したいとの意向が出された。後任の委員については、英語学分野で候補者を選考・推薦し、委員会で承認することとなった。手続きについては、英語学の委員で話し合っ候補者を決め、候補者に打診、その結果を事務局を通して編集委員長に連絡し、最終的には編集委員会です承を得るということで承認された。
5. 「招待発表者」ならびに懇憑について
今回は、イギリス文学（大島久雄氏、三宅敦子氏）、アメリカ文学（渡邊真理子氏）、英語学（古賀恵介氏）の 4 名の招待発表をお願いした。招待発表では、少なくとも 2 名の編集委員が発表を聞き、懇憑論文を依頼するかどうかを判断する。
懇憑が決まれば、各部門の編集委員長、副編集委員長より依頼し、その結果を

事務局に連絡する。それを受けて、事務局は編集委員会に報告する。徳憑論文投稿の打診を受けた執筆者でも、一般論文として応募したい場合には、その旨を伝えれば一般論文として審査を受けることも可能である。

来年度の学会においても、招待発表を依頼するかどうかについて議論し、その結果、依頼することとなった。イギリス文学部門については慣例的に例年2名を招待しているが、1名もあり得ることが確認された。招待発表者への交渉は2017年末までを目処とすることが確認された。次に、招待発表者に対して来年度も徳憑論文を依頼することが承認された。（徳憑論文であっても審査されることを前もって伝える必要がある。）一般発表についても編集委員から広く論文提出を促すことが確認された。

6. 支部大会統合プロシーディングズについて（報告）

渡部書記より報告。今年度のプロシーディングズは2017年9月15日に刊行された。九州支部は48ページとなり、7支部中最大の枚数となったことが報告された。来年度も例年通りの方法を踏襲することが承認された。なお、投稿率は62パーセントであることが報告された。

また、プロシーディングズ編集に関して、投稿者へ以下の5点を周知する必要性が報告された。

(1) 投稿規定の遵守を促すこと。(2) シンポジウム代表責任者への通知を徹底すること。(3) 院生の積極的な投稿を促すこと。（院生は13名中7名の投稿にとどまった）(4) メールアドレスの変更がある場合の連絡通知を徹底すること。(5) 校正修正に関する通知を徹底すること。大幅な修正などは原則として受け付けない。

7. 来年度の支部大会について（報告）

来年度支部大会は九州女子大学（評議員：中島久代氏）で開催されることが山田支部長より報告された。なお、九州女子大学と同一組織・同一敷地内の九州共立大学の先生方にも協力いただくことになっており、同大学名についても開催協力校として開催校リストに記載し、議事録等の記録にも残したいとの提案があり、審議の結果、承認された。

これに併せて、開催校委員・開催協力校委員の名前をプログラムに表記することも支部長より提案され、承認された。

8. その他

その他の審議事項はなかった。

2017（平成 29）年度

日本英文学会九州支部 評議員会・理事会（議事録）

日 時：2017（平成 29）年 10 月 21 日（土） 午前 10 時 47 分～11 時 25 分
場 所：長崎大学環境科学部 1 階大会議室

議事：

1. 活動報告

秋好事務局長より今年度の活動に関して、支部大会、『九州英文学研究』の刊行、大会 Proceedings の刊行を例年通り行う旨の報告がなされた。昨年度の大会及び今年度の活動は以下の通り。

- ・第 69 回支部大会（2016 年 10 月 22 日・23 日）中村学園大学 研究発表 21 件（英文 11、米文 4、英語学 6）
- ・編集委員会（第 1 回 2017 年 7 月 30 日、第 2 回 2017 年 10 月 21 日（本日））
- ・第 70 回支部大会（2017 年 10 月 21・22 日）長崎大学 研究発表 19 件（英文 9、米文 3、英語学 7）

2. 会計報告

秋好事務局長より、別紙の会計報告書に基づき前年度会計報告がなされ、古賀恵介氏（園田暁子評議員の代理出席）より、会計監査確認の旨の報告があり、承認された。また、今年度会計の中間報告が別紙に基づき秋好事務局長より報告され、承認された。さらに、来年度（2018 年度）の予算案が別紙に基づき報告され、承認された。

※山田支部長より会場使用料の問題が提議され、今回は長崎大学との共催という形で教室使用料の免除を受けたことが報告された。

3. 統合号出版経費負担について

表題の件について、秋好事務局長より以下の通り報告がなされた。

- (1) プロシーディングス分担金 ¥97,903（48 頁）（昨年度は ¥80,212 円（32 頁））
- (2) 支部大会資料統合版分担金 ¥0
- (3) 英文学研究支部統合版第 10 号 未定（第 9 号は ¥72,237 円（27 頁））

4. 編集委員会報告

早瀬編集委員長より、別紙に基づき以下の通り編集委員会報告がなされた。

- (1) 『九州英文学研究』第 33 号について

2017年1月20日刊行。8編(英文学5編、米文学3編)の投稿があった。徳憑論文の投稿はなかった。英文学1編を採用し、英文学1編、米文学1編に対して再審査をおこない、米文学の1編が採用。その結果、英文学1編、米文学1編の2編の掲載となった。そのうち英文学の1編が奨励賞。

(2) 『九州英文学研究』第34号について

一般投稿11編(英文学4編、米文学7編)、徳憑論文3編(英文学2編、英語学1編)で、総計14編の投稿があった。審査の結果、英文学2編(共に徳憑論文)、米文学2編を採用し、英語学1編(徳憑論文)、米文学1編に対して再審査を行ない、英語学の1編が採用。その結果、英文学2編、米文学2編、英語学1編の5編の掲載となった。

(3) 学会賞について

九州支部学会賞の基準にそって審議した結果、今回は、「優秀論文賞」「奨励賞」共に該当者なしとなった。

(4) その他(委員の交代について)

英語学分野の登田龍彦委員より、本務校でのご退職に伴い、委員を本年度で退任したいとの意向が出された。後任の委員については、英語学分野で候補者を選考・推薦し、委員会で承認することとなった(2017年第1回編集委員会にて審議・承認済み)。

5. 支部理事投票手続きについて

山田支部長より、支部理事投票手続きに関して以下の提案が出された。

- (1) 日本英文学会九州支部理事選挙規約の「投票手続きについて」には、「投票手続きについて(2015年度)」と書かれているが、その「(2015年度)」を取り、年度を指定しない形にすること。
- (2) 「1. 選挙権者及び被選挙権者は2015年9月1日現在、本部会員で、かつ九州支部会員である者。」を「1. 選挙権者及び被選挙権者は理事選挙が行われる年度の9月1日現在、本部会員で、かつ九州支部会員である者。」と変更すること。

以上2点の提案について審議され、2017年10月21日付で承認された。

6. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について

山田支部長より来年度の大会について、全国大会は東京女子大学で2018年5月19日、20日に、支部大会は九州女子大学で2018年10月20日、21日に、それぞれ開催されるとの報告がなされた。また以下の2点の提案・報告がなされた。

(1) 来年度の支部大会は、開催校の九州女子大学(評議員:中島久代氏)に加え、同一組織・同一敷地内の九州共立大学の先生方にも協力頂くことになっており、同大学名についても開催協力校として開催校リストに記載し、議事録等の記録にも残したい。

(2) 編集委員会において、支部大会のプログラムに新たに「開催校委員」「開催協力校委員」という記載を設けてはどうかとの提案が出された。

審議の結果、いずれも承認され、記載の方式については事務局に一任することが決まった。

7. 評議員名、理事名、編集委員名

山田支部長より、現在の評議員、理事、編集委員については、別紙の通りであるとの説明がなされた。

====出席者 28 名（敬称略、五十音順）====

≪評議員≫

江頭 理江

加藤 洋介

木原 謙一

黒木 隆善

古賀 恵介（園田暁子氏の代理）

田中 公介

中島 久代

廣江 顕

深堀 悦子

前田 雅子

山根 一文

≪理事（評議員、編集委員を含む）≫

鵜飼 信光

木下 義貞

小林 潤司

高野 泰志

高橋 勤

鶴田 学（副支部長）

登田 龍彦

西岡 宣明

虹林 慶

早瀬 博範（編集委員長）

福田 稔

山田 英二（支部長）

≪編集委員≫

岡本 太助

≪事務局≫

秋好礼子（事務局長）

竹安 大

福原 俊平

渡部 智也